

令和5年度 さいたま市立道祖土小学校
第1回学校運営協議会 議事録

【日 時】 令和5年6月8日（木） 13時20分～15時00分

【場 所】 道祖土小学校 3階 第1図書室

【議事録】

○開会

○委員長あいさつ

- ・昨年度立ち上がった学校運営協議会ではあるが、令和3年度より準備をしていた。熟議を通して、いろいろと検討していきたい。
- ・コロナ過のため話し合ったことを実行することができなかったが、これからは、ぜひ形にしていきたい。
- ・子どもたちにはいろいろな体験をしてもらいたいと思っている。先日のスポーツフェスタは、全児童が一度に集まることができてとてもよかった。

○委嘱状交付（当日出席者6名の委員に交付）

○参加者自己紹介

○校長あいさつ

○令和5年度学校経営方針について（校長より説明）

- ・校訓「明るく 仲よく たくましく」について
- ・学校教育目標「心豊かで たくましい 道祖土っ子の育成
～認め合い・学び合い・高め合う～について」
- ・令和5年度学校自己評価システムシートについて

○いじめ防止について（教頭より説明）

- ・道祖土小学校いじめ基本方針について
- ・いじめの定義について
- ・令和4年度のいじめ認知件数について
- ・具体的な取組について
- ・いじめ重大事態について（校長より説明）

○熟議「地域でどのような子どもを育てていくのか」

- ・ふるさと意識をもった子どもを育てたい。このふるさと意識は、道祖土小学校においては、「地域の人々に対する思い」と捉えられる。校訓の「明るく 仲よく たくましく」については、「たくましく」が課題ではないか。今後、地域が学校と一緒にできることは何かと考えた時に、子どもを中心として行事を開いていくことが大切ではないかと思う。
- ・ふるさと意識をもった児童を育成するためには、行事がポイントになるの

ではないか。近所の人同士でも顔を知らない状況である。そのため、人と人がつながるためには、行事が大切であろう。学校では、行事がパンパンであるため、地域の今あるものを充実させていくことが大切だろう。地域の行事をより充実させていくために、一步踏み込んで義務までいかななくても、協力をお願いできる方に積極的にお願いしていくことが必要であると考えます。

- ・交通指導員が一人しかいないのも道祖土小学校の課題である。だんだん自治会も高齢化しており、協力を依頼するにも難しい状況である。
- ・自治会も高齢化してきており、活動が難しくなっている状況ではあるが、もっと地域を巻き込んでもよいのではないかと考える。教職員も忙しい状況であるから、地域や自治会を巻き込んでいくことが必要。学校の掲示板にもっと夏祭りの宣伝を貼りだしていくこともやっていきたい。
- ・中学校では、地域に貢献できる中学生を育てることを目標としている。
- ・子どもは、地域で育てるべきであろう。今年は夏祭りに力をいれて取り組みたいと思っている。そうした所に子どもが集まってくれば、きっと子どもを地域みんなで育てられる。自治会だけでなく、育成会、PTA 皆でやっていきたい。
- ・チャレンジスクールにおいて、児童の希望が多いのはやはり体験活動である。そうしたものをこれから充実させていくことも大切である。
- ・自治会として仕事を割り振るのではなく、手伝える人という有志を探す方が今の時代に合っているのではないか。
- ・近居で住む方が増えてきている。これをつながりとして有効活用していきたい。子どもを見守るという共通項があるため、そこでみんなで押し付け合うのではなく、みんなで手をつなぐことが重要である。みんなで負担し合うことをしていきたい。
- ・来年は50周年もあるので、そこもチャンスとしてとらえている。

○連絡

- ・第2回の運営協議会は、令和5年11月10日（金）13：20～である。

○閉会